



1000000人のキャンドルナイト

でんきを消して、スローな夜を。

2009年6月20日(土)夏至前夜-7月7日(火)夜8時-10時



でんきを消して、スローな夜を。

私たちは100万人のキャンドルナイトを呼びかけます。
2009年の夏至の日、6月20日夜、8時から10時の2時間、
みんなでいっせいでんきを消しましょう。
ロウソクのひかりで子どもに絵本を読んであげるのもいいでしょう。
しずかに恋人と食事をするのもいいでしょう。
ある人は省エネを、ある人は平和を、
ある人は世界のいろいろな場所で生きる人びとのことを思いながら。
プラグを抜くことは新たな世界の窓をひらくことです。
それは人間の自由と多様性を思いおこすことであり、
文明のもっと大きな可能性を発見する
プロセスであると私たちは考えます。
一人ひとりがそれぞれの考えを胸に、ただ2時間、でんきを消すことで、
ゆるやかにつながっていく「くらやみのウェーブ」を
地球上にひろげていきませんか。
でんきを消して、スローな夜を。

よびかけ人代表

辻信一 明治学院大学教授/NGOナマケモノ倶楽部世話人

藤田和芳 大地を守る会会長

マエキタミヤコ NPOサステナ代表

竹村真一 京都造形芸術大学教授/EarthLiteracyProgram代表

枝廣淳子 ジャパン・フォー・サステナビリティ共同代表/イーズ代表/チェンジエージェント会長

立松和平 作家

面手薫 照明デザイナー/照明探偵団団長

米谷啓和 日本青年会議所元会頭

2009年呼びかけ人一覧(125名)

小川誠子(日本棋院棋士)、SUGIZO(ミュージシャン)、マエキタミヤコ(サステナ代表)梅野泉(詩人 キャンドルナイト@ TERRA)、中村徹雄(特殊免疫研究所)、三橋規宏(千葉商科大学教授)、相澤恭行(PEACE ON代表)、石源次郎(株式会社花の企画社 代表取締役)、Mao Simmons(絵描)、尾崎零(産消循環自給農場べじたぶるは一つ)、鈴木康広(アーティスト)、上野宗則(株式会社素歌エンゼルメイク・アカデミア代表)、王理恵(雑穀料理研究家)J-wave「LOHAS SUNDAY」ナビゲーター、藤岡亜美(スローウォータカフェ有限会社代表)、石澤良昭(上智大学長)、浜畑賢吉(俳優大阪芸術大学教授)、細川護熙、雨谷麻世(ソプラノ歌手)、小澤陽祐(有限会社スロー代表)、上田紀行(「生きる意味」著者)、中村隆市(ナマケモノ倶楽部世話人/株式会社ウィンドファーム代表)、Aika(サウンド・セラピスト)、南兵衛@鈴木幸一(アースガーデン代表)、佐藤環(株式会社全通会長)、藤田和芳(大地を守る会会長)、オノ・ヨーコ、大江正章(コモンズ代表)、唐牛真喜子(株式会社アトモス)、牛田彰(株式会社カネスエ代表取締役)、渡邊美樹(ワタミ株式会社代表取締役会長・CEO)、緑川芳樹(グリーンコンシューマー研究会代表)、株式会社サニーサイドアップ、吉澤武彦(キャンドルナイトワンピース実行委員会)、ウチダゴウ(詩人)、深津高子(国際モンテッソーリ教授)、ワダアヤ(ナマケモノ倶楽部スタッフINエクアドル)、宇野真介(ナマケモノ倶楽部会長)、松谷冬太(ソウルシンガー)、岡崎眞(イーブック・システムズ株式会社代表取締役)、山岡義典(法政大学教員)、星川淳(グリーンピース・ジャパン事務局長/作家・翻訳家)、スカルマ・ギェルメット(ジュレ・ラダック代表)、

成田智信(カフェ・デラ・テラ理事、善了寺住職)、向谷地生良(浦河べてるの家)、辻信一(ナマケモノ倶楽部世話人/明治学院大学教授)、吉岡淳(カフェスロー代表)、渡邊尚(トージバ代表理事)、大林ミカ(気候変動プロジェクト政策アドバイザー-英国大使館)、大沼勝、内藤かほる(生活クラブ生活協同組合大阪)、佐藤眺偉(世嬉の一酒造株式会社社長)、井口俊之(井口食品株式会社代表取締役社長)、小柳昌之(株式会社ハーバー研究所代表取締役社長)、高見邦雄(緑の地球ネットワーク事務局長)、市毛良枝(俳優)、松橋隆治(東京大学大学院 新領域創成科学教授)、宇根豊(百姓・農と自然の研究所)、陽捷行(北里大学副学長)、中西和夫(日本食品工業株式会社)、日下部知世子(アロマテラピー総合研究所代表)、関信雄(株式会社ビオ・マーケット代表取締役)、飯田俊(株式会社ゆうげい社)、島村奈津(作家)、川原ひろみ(グリーンコープかごしま)、高木剛(日本労働組合総連合会(総連)会長)、柳下正治(上智大学 大学院教授)、嶋津昭(地域総合整備(ふるさと)財団 理事長)、西川栄郎(安全な食べものネットワーク オルター)、須田洵(財団法人すこやか食生活協会)、齋藤京一(綜美薬品株式会社 代表取締役)、倉垣光孝(株式会社浪漫堂 代表取締役CEO)、熊野英介(アタミ株式会社 代表取締役社長)、光食品株式会社、高島宏平(オインックス株式会社代表取締役)、水野葉子(有限会社リファース代表取締役)泉庄治(株式会社奥熊野本宮 道の駅 奥熊野古道ほんごう)、グルッペ(自然食糧品)、矢野一郎、寒竹郁夫(デンタルサポート株式会社 代表取締役社長)、堂園晴彦(堂園メディアカルハウス院長)、堀井修(自然体“農”ネット代表)、サンブラザ中野くん(ロック歌手)、山本コウタロー(フォーク歌手・白鷗大学教授)、播磨靖夫

(財団法人 たんばぼの家 理事長)、朴慶南(作家)、見城美枝子(青森大学教授)、蒲生孝治(京都女子大学教授)、吉川康(佐賀県知事)、梶井功(東京農工大学名誉教授)、岸康彦(財団法人 日本農業研究所 客員研究員)、若森資朗(パルシステム生活協同組合連合会 理事)、久米信行(久米繊維工業株式会社 代表取締役)、村上護頭(海の精株式会社 代表取締役)、大木浩(全国地球温暖化防止活動推進センター 代表)、秋川正(株式会社 秋川牧園 代表取締役社長)、落合良(結の会 会長)、遠藤栄治(株式会社 遠藤蒲鉾店)、原真二(アーティスト)、立松和平(小説家)、佐藤喜作(農業)、佐藤彌右衛門(合資会社大和川酒造店 代表社員)、川人紫(ハイパープランツ株式会社)、加藤登紀子(歌手)、小島敏郎(青山学院大学 教授)、小林悦夫(NPO法人 環境創生研究フォーラム)、佐々木康祐(有限会社 富士見堂)、C・Wニコル(作家)、池田徹(株式会社生活サポートクラブ代表取締役)、yae(歌手)、川北秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者)、一ノ宮嘉道(株式会社一ノ宮事務所)、鍋島厚(北軽ファーム)、千賀裕太郎(東京農工大学・大学院連合農学研究所)、かわしまよう子(花作家)、小原文夫(仙台黒豚会)、近藤正明(長崎有機農業研究会)、堀田正彦(株式会社オルター・トレッド・ジャパン代表取締役)、越膳百々子(株式会社 食のスクジオ代表取締役)、幸田シヤミン(ジャーナリスト)、加藤三郎(NPO法人環境文明21・共同代表)、中村靖(株式会社創健社代表取締役社長)、岸田仁(参加型システム研究所所長)、栗原彬(日本ボランティア学会代表・政治社会学者)、齋藤信勝(リヴァックス株式会社 代表取締役CEO)

キャンドルナイトって何？

100万人のキャンドルナイトは、
夏至と冬至の夜8時～10時の
2時間、電気を消してキャンドルを
灯しましょうというよびかけです。
何のために電気を消すか、
電気を消して何をするかもすべて自由。
自発性と多様性のムーブメントです。
100万人のキャンドルナイトを作っているのは
参加者ひとりひとりなのです。

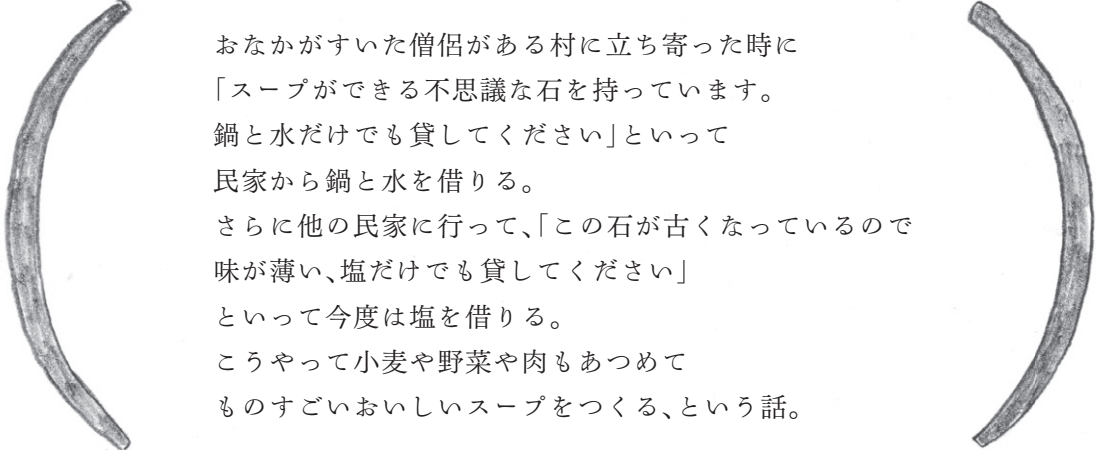
それは運営サイドも同じ—————

ウェブサイトの制作メンバーのひとりが
ポルトガル民謡の“石のスープ”をたとえて
キャンドルナイトを次のように表現してくれました。



石のスープ

「石のスープ」っていうポルトガル民謡をご存知ですか？
キャンドルナイトの仕事をしていると
僕らがやっていることはまさにこの話のことだなんて思います。



おなかがすいた僧侶がある村に立ち寄った時に
「スープができる不思議な石を持っています。
鍋と水だけでも貸してください」といって
民家から鍋と水を借りる。
さらに他の民家に行って、「この石が古くなっているので
味が薄い、塩だけでも貸してください」
といて今度は塩を借りる。
こうやって小麦や野菜や肉もあつめて
ものすごいおいしいスープをつくる、という話。

キャンドルナイトの作業はまさにこんなかんじ。
日本時間の夜な夜な、ロンドン時間の昼間、
スカイプにあつまってみんなで作業。
「ここをもっとこうしたいな」って誰かがいうと、
「じゃあ僕が画像つくるから、
何々君はデータアップロードして」みたいに、
ひとつのサーバーを囲んでみんなで材料を放り込む。
気がつくとホームページができあがっている。

- 5 会社組織とは全然違う、個々が自律分散協調しながら
何かができあがっていく面白さがここにはあります。
会社組織では上司やクライアントの命令が主導権を
握ることになりますが、ここでは手を動かした人が
主導権を握ることになります。
これは、ホームページの作成の話だけのことでなくて、
キャンドルナイトという企画自体
この石のスープのようだなと思います。

キャンドルナイトという時間に、いろんな人が集まってそれぞれの場所で、
それぞれの人たちが、それぞれの思いを込める。
もはや誰も全体像を理解しきれていないんじゃないだろうかと思う。

みなさんも思い思いの材料を放り込んでみてはいかがでしょうか。

夏至と冬至



————— 多様性を受け入れられる日だから

特定の主張と結びついた日ではないため、様々な価値観を持つ人々に参加をよびかけられると
考えました。平和の主張ならば「終戦記念日」、環境保護ならば「アースデイ」など、
それぞれの主張に基づいて日程を選びますが、
「100万人のキャンドルナイト」は間口の広い運動です。

どんな価値観を持つ人にも参加してもらって、周囲とのつながり、
自然とのつながりを感じてみてほしいという気持ちが、夏至・冬至という日にこめられています。

————— 自然のリズムを感じられる日だから

昼も夜もなく、忙しい現代の生活ですが、
「だんだん日が長くなってきたから、
もうすぐキャンドルナイトだな」など、
地球の動きを感じてもらうきっかけになればと考えています。

6 ————— 国境を越えてよびかけられる日だから

日が一番長くなる夏至は北半球に共通して起こり、
南半球は日が一番短くなります。第一回目の2003年から、
海外へのよびかけを念頭に置いていたため、
国際的なムーブメントにふさわしい日と考え、夏至と冬至を選びました。



「100万人のキャンドルナイト」は、何かを否定する運動ではあ
りません。「電気を消してみませんか」「キャンドルを灯してみま
せんか」「恋人や友人、家族と、ゆっくりとした時間を過ごしてみ
ませんか」と、提案する運動です。そして、そのことが、何か新しい
発見につながればと考えています。どんな思想や価値観を持つ人
も参加できる、間口の広い運動です。



イベント

ウェブサイト上のイベント登録数は、2009年夏至では、国内・国外合わせて752箇所（昨対79.1%）となりました。

国内、国外合わせて 夏至


752

箇所

それぞれ独立して運営しています。

すべてのイベントは独立採算、自発的に発生したイベントです。
キャンドルナイトのウェブサイトは、
自分の家の近くでキャンナイトを
開催していることを瞬時に知ることができるだけでなく、
同時期に多くの場所や国々でイベントが開催され、
人と人がつながるイメージを可視化しています。

2003年夏至 63箇所_初年度
2004年夏至 239箇所
2005年 311箇所
2006年 473箇所
2007年 903箇所
2008年 951箇所_過去最高



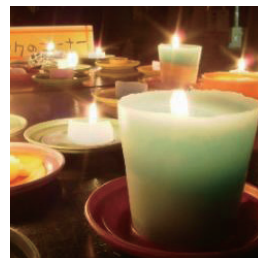
※今夏は、キャンドルナイトを開催しているところも登録をしていないところも多く、
キャンドルナイトが社会に根付いている証拠でもあります。今後はさらにイベント登録を呼びかけていきたいと考えています。

全国でイベントが開催されています。

イベント主催者は、すべて独自に開催し、それぞれのキャンドルナイトへの思いを表現しているのです。草の根的に広がっていくイベントを事務局ではホームページで随時紹介しています。

キャンドルナイト2009 in 知床／グランドホテル北こぶし

北海道知床グランドホテルでは6月19日～21日の3日間。館内の一部（ロビー、レストラン）でのライトダウンとキャンドルの灯火を実施。手づくりろうそく体験コーナーや夜には、星空見学ツアーも開催しました。



弘前のカフェ店「CafeQ with candle-night」

青森県・弘前にあるCafeQでは、今年からキャンドルナイトに参加。ろうそくの火を照らしながら普段とは少し違う空間で過ごしました。お気に入りのろうそく持参をお願いし、やさしい光に包まれて飲む珈琲の味は格別だと好評でした。



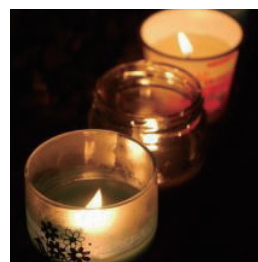
キャンドルナイト2009 in いいで

山形県の農家レストラン「エルベ」いいで天文台。夏至の日、レストラン周辺で食事をしたり、ろうそくの明かりで星空やほたるを観察。ゆっくりとした時間の中で地球温暖化について考えます。事前に廃食用油キャンドルを作成する場を設置。



100万人のキャンドルナイト in 清徳寺

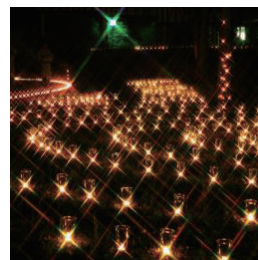
新潟県・清徳寺でキャンドルナイト。昼のステージでは、環境にやさしい廃油と空き瓶を使ってカラフルなエコキャンドルをつくるワークショップを開催。夜のステージでは、廃油でつくったエコキャンドルがお寺を灯しました。



イベント

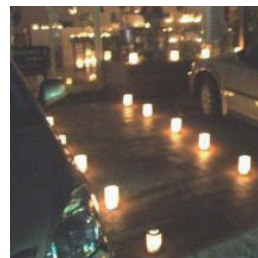
キャンドルナイト in ホテルグリーンプラザ軽井沢

群馬県・ホテルグリーンプラザの中庭・ロビーなどをキャンドルで点灯。薄暗いロビーにてミニコンサート、教会にて賛美歌の斉唱を行いました。



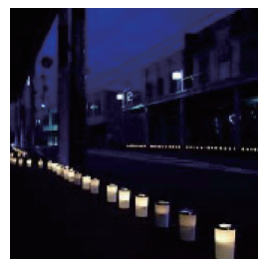
Candle Night in LOHAS/Studio Koshigaya

キャンドルのやわらかい灯りの中、シンガーソングライターYUKKAさんによる弾き語りを実施。美しい歌声の中、キャンドルナイトが盛り上がりました。オーガニックのお茶とお菓子もご用意。大切な人と一緒に過ごすひと時は会場中を温かい空気で包みました。



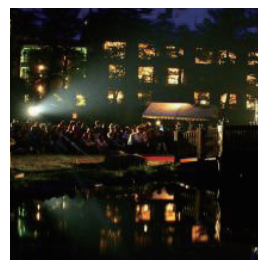
商店街キャンドルナイト in 三重

三重県亀山市東町の東町商店街&「みらい」にて開催。ペットボトルキャンドル約1000灯をアーケードに口笛演奏を実施。懐かしの映画を上映した映写会も大変話題となりました。



大山王国・夏至祭 夕暮れコンサート in 鳥取

鳥取県・大野湖畔（大山レークホテル）で開催する大山ミュージックリゾートのメインプログラム「夏至祭」は今回で10回目。大野湖畔での野外ステージでは、地元を中心に全国で演奏活動を展開している人気アーティストが集結し、夏至を飾りました。



おきなofの杜のキャンドルナイト in 福岡

介護施設の住民やデイサービスの利用者と一緒にキャンドル作りを実施。作ったキャンドルを施設内にデコレートしました。地域の方やご家族との語らいの場をキャンドルで彩りました。



東京八百夜灯 2009



東京タワーの消灯をカウントダウンするイベントとして注目を集めて今年で7年目。有機食材宅配のパイオニア・大地を守る会プロデュースのキャンドルナイトイベント「東京八百夜灯2009」が夏至の夕方から開催されました。今夏は、4年ぶりに港区増上寺で行い、来場者は3,000名。年を重ねる度に認知度が増し、来場者が増えています。増上寺は、故・忌野清志郎さんが参加された2003年初のキャンドルナイトコンサート会場。2009年も注目アーティストが集い会場を一体感で包みました。

ポスター



誰でも子どもの頃にロウソクや花火を動かして目にのこる残像を楽しんだ経験があるのではないのでしょうか。今年のメインビジュアルは、ロウソクを手にする喜びをどう表現するか考え、ロウソクの灯でCandle nightと文字を描きました。カメラのシャッターを一分ほど開けた状態でロウソクを動かすとその軌跡がフィルムに残ります——ちょうど天体写真のように。一筆書きならフィルムをキャンバスに文字を描くことができるのです。頭の片隅に眠っている子どもの頃の記憶を一枚の写真で表現し、ポスターを制作しました。

新聞広告



Candle Night

でんきを消して、スローな夜を。
2009年6月20日(土)夏至前夜-7月7日(火)夜8時-10時

今年の6月20日(土)~7月7日(火)は環境省が地球温暖化防止のためにライトアップ施設や家庭の電気を消して寝るよう呼びかけている「CO2削減/ナイトダウンキャンペーン」期間です。特に6月21日(日)と7月7日(火)の夜8時~10時には、全国のライトダウンが実施されます。

みんなでいっせいでんきを消しましょう
1000000人のキャンドルナイト
メッセージを送るとあなたのいる場所にアかりが灯るキャンドルステップやキャンドルナイトの2期間を楽しむ加工室をウェブで公開しています。
www.candle-night.org/jp/

まちのいっせいらイトダウン
クールアース・デー 2009
プラクティス・セッション2009
6月21日(日)夜8時~10時まで | セタライトダウン
7月7日(火)夜8時~10時まで
www.coolearthday.jp/





朝日新聞	読売新聞	毎日新聞	産経新聞	読者新聞	日本経済新聞	日本放送新聞	日本郵政新聞	日本労働新聞	日本学生新聞	日本学生新聞
朝日新聞	読売新聞	毎日新聞	産経新聞	読者新聞	日本経済新聞	日本放送新聞	日本郵政新聞	日本労働新聞	日本学生新聞	日本学生新聞
朝日新聞	読売新聞	毎日新聞	産経新聞	読者新聞	日本経済新聞	日本放送新聞	日本郵政新聞	日本労働新聞	日本学生新聞	日本学生新聞

12

今夏のPRで印象的だったのは、6月20日(土)夏至前日に朝日新聞 | 全国版 朝刊にメインビジュアルが掲載されたこと。環境省とのコラボ広告がモノクロ15段で載りました。メインビジュアルの反応もよく、各界から高い評価を得ました。今年のメインビジュアルは、ロウソクを手にする喜びをどう表現するか考え、ロウソクの灯でCandle nightと文字を作成。誰でも子供の頃にロウソクや花火を動かして目にのこる残像を楽しんだ経験があるのではないのでしょうか。そんなノスタルジーを感じさせる温かな作品が話題となりました。

ウェブ

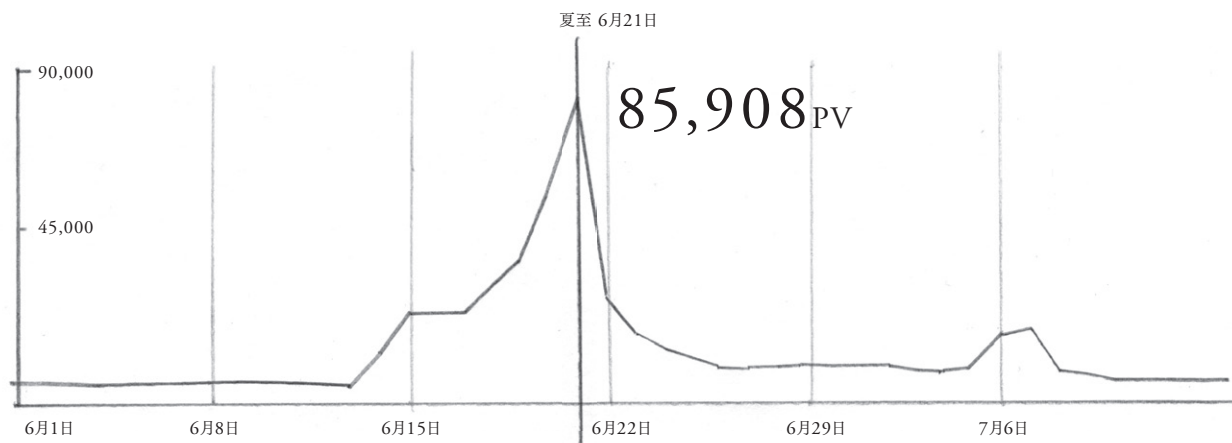
アクセス数

キャンドルナイトの要はインターネットです。

464,928 PV

2009年期間中の総アクセス数

<http://www.candle-night.org>



13

PV = ページビュー

Webサイトの訪問者のブラウザにHTML文章(Webページ)が1ページ表示されるのが1ページビューです。通常、訪問者はサイト内の複数のページを閲覧するため、訪問者数(visit)よりもページビューのほうが数倍多くなります。ページビューはテレビ広告のGRPに近い概念でリーチ(到達者数)とフリークエンシー(平均接触頻度)に因数分解して媒体力を測定することができます。

「共時性」がテーマのひとつでもありました。

2009年のウェブでは、新しい企画を発表しました。



背景色このように変化

◎メインサイト

今年のウェブサイトが昨年度と大きく違うのは背景色が空の色とリンクするデザインにした点です。バーチャルの世界でもどれだけ現実の世界とリンクできるかを追求してみました。



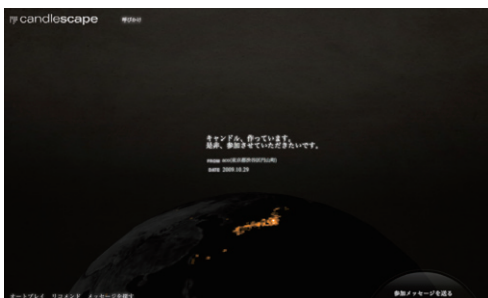
◎キャンドルナイト図工室

キャンドルナイトの2時間とその準備までもがたのしくなる“こと”をと、計画してきた“キャンドルナイト図工室”をオープンしました。監修&コンセプトは、アーティストの鈴木康広さん。ろうそくを使ったアートは、ほのぼのとしたキャンドル時間を演出してくれます。



◎カレイド・スコープ

カレイド・スコープとは万華鏡という意味です。送った写真がウェブサイトに反映され、ひとりひとりのスローな夜をライブ中継。キャンドルナイトの2時間をどのように過ごしたか写真とメッセージで共有できます。それぞれの思いが詰まった“スローな夜”がライブ中継されました。



◎キャンドルスケープ

個々人の営みは小さくてもそのピースがジグソーパズルのようにつながると、大きな変革の力となる——2003夏至から賛同の輪が予想外に広がりました。「キャンドルスケープ」は、見えないつながりと共感のウェブをリアルタイムでモニターしてみたいという思いで作った地図です。

◎メインサイト/ベーシックデザイン：樋口賢太郎 実製作：アラカワケンスケ、伊藤菜衣子、坂口祐、信岡良亮、吉本龍司 ◎キャンドルナイト図工室/デザイン：樋口賢太郎 実製作：信岡良亮 ◎Kaleido Scope=企画・制作：Earth Literacy Program プロデューサー：竹村真一 ディレクター、インタフェースデザイン、Flashオーサリング、サーバサイド：アラカワケンスケ インタフェースデザイン：市角壮玄 (hoxai graphics) 協力：(株)プロジェクト・タオス ◎Candle Scape/企画・制作：Earth Literacy Program プロデューサー：竹村真一 ディレクター、インタフェースデザイン、Flashオーサリング：アラカワケンスケ Flashオーサリング：鈴木 健 (サイナー) ケータイ版プログラミング、CMS：西村潤 (サイナー) サーバサイド、CMS：鈴木 巖 (サイナー) 協力：(株)プロジェクト・タオス

海外への広がり

昨年引き続き、2009年夏至でも海外チームがニュースレターを世界に発行。ニュースレター登録者数は、(2009年10月6日現在)72の国と地域、約705件(有効アドレスベース)となりました。

ニュースレター登録者数

705
件

72
カ国



15

海外イベント団体との連携

◎香港 Dim It

ビクトリアハーバー地区で6月21日 8時～10時まで2時間の消灯
参加施設3500件以上、イベント参加者推定3000～5000名

◎韓国 Candle night

◎ハンガリー、カナダ、フランスなど 小規模イベント

SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)での展開

Facebook、Flicker、myspaceなどのSNSでも盛り上がりました。

<http://www.facebook.com/pages/Candle-Night/109894223133?ref=mf>

<http://www.flickr.com/groups/candlenight/>

http://www.myspace.com/candle_night

香港の2009 消灯イベント “Dim It”

昨年引き続き韓国のソウルタワーなどでも消灯施設がありました。キャンドルナイトの輪は確実に日本から世界へ広がりをみせています。



消灯前



消灯後

夏至の夜、香港ではこれまでになかった規模で「夜空の星を見ようというイベントが行われました。ヴィクトリア地区では3500以上の建物や施設が8時から10時まで消灯し、地域の街灯は60%照明を落としました。天体望遠鏡が100基設置され、街は大きな天体観測基地となりました。“Dim it 2009”は「香港・地球の友」と「世界天文年2009香港聯盟」との共催。光(ひかり)害とエネルギー消費について市民によく知ってもらおうというのがイベントのコンセプトです。多くの建物、店舗、施設が呼びかけに応え、この夜をきっかけに光害への関心が高まりました。

環境省と連携しています。

2003年開始年は、環境省後援、2004年からは環境省とパートナーシップを組んでいます。2004年夏至に、環境省と共同で制作したポスターは、全国6,000箇所以上の消灯施設や239イベント、その他希望者に配布されました。

ブラックイルミネーション2009& 七夕ライトダウン

環境省では、今夏6月21日(日)を「ブラックイルミネーション2009」、最終日の7月7日(火)を「七夕ライトダウン」として、夜8時から10時までの2時間、全国のライトアップ施設等を一斉に消灯することを全国に呼びかけました。その結果、162,233か所の施設が参加し、約2,365,657,96kWhの電力の削減につながりました。これは約949tのCO2排出を削減し、約6万5000世帯の1日の排出量に相当します。

総消灯施設

162,233 か所

総削減電力量

236,565,796 kWh

消灯施設

6月21日(土)76,650か所
7月7日(火)85,583か所

削減消費電力量

6月21日(土)756,857,22kWh
7月7日(火)1608,800,74 kWh



熊本城 | 消灯前



消灯後

多メディアに紹介されています。

◎NHK総合

今年、最も注目が集まったのがNHK総合での放映です。6月20(土)・21日(日)、夏至にNHK総合「地球エコ2009」環境特番の“SAVE THE FUTURE”内にて「100万人のキャンドルナイト」の特集を組んでくださいました。生放送を中心に20時間近い放送を企画。全国のキャンドルナイトをタイムリーに見ることができました。

出演者:藤原紀香、松本和也アナウンサー、マエキタミヤコ

◎掲載記事

NewsWalker
TW編集会議「これイじゃん!!」度★★★★

6/21sun
20:00~21:00
LIGHT DOWN

東京タワー消灯!
芝公園
東京タワー消灯イベント、今年も開催される。約5000人によるカウントダウンも感動的

「スローな夜を彩るステージ」
「アコースティックバンド」ライブ18:00~11:45, Yes. 開催元が主催

100万人のキャンドルナイト
東京八百夜灯2009

4年ぶりに増上寺で東京タワー消灯のカウントダウンが行われる。ライブのほか、20:00~21:00の「キャンドルナイトタイム」にはステージで朗読とピアノの演奏も。

「100万人のキャンドルナイト」ってなに?
「でんきを消して、スローな夜を。」を合言葉に、環境NGOなどの呼びかけで00年一晩中、カンパニア・カクテル・ライト、東京タワーの消灯だけでなく、地産地消や地域のライトスタイルを見つけるというものが

東京ウォーカー 6月9日



毎日新聞 6月22日

東京タワー、六本木、表参道…都内の名所がいつせいに消灯!
6/21日夏至の夜、電気を消して星を眺めませんか?
100万人のキャンドルナイト 開催

スローな夜を彩るステージ
「藤本香里 キャンドルナイト Live supported by TOKYO FM Midtown Studio」19:20~20:00
コートヤード(雨天時はキッパースタイルにエアー変更)

六本木
初開催!ミッドタウンに2000本のキャンドルが

六本木
夏至からヒルまで六本木ヒルズのネオンが消える!

キャンドルナイト at Tokyo Midtown
街区内をライトダウンし、芝生広場は約2000本のキャンドルに包まれる。メッセージキャンドルは6/12日~先着350名受付。当日50名も参加可能。

プラザビルミネーション2009 六本木ヒルズ
ビルタワーのライトダウンに合わせ、屋上の東京シネビュー スカイデッキでは6/21日19:00~21:00に「星座観望会」を開催(雨天時中止)。

夏至の夜「エコ消灯」
地球温暖化問題への関心を高めようと、照明を一時的に消して電力削減について考えようという動きが、21日夏至、全国約7万4000カ所で行われた。東京では、東京タワーが午後8時から7時間ライトアップの照明を消した。近くの増上寺でも境内の明かりが消え、約300個のキャンドルが灯とともされる中「写真」、NGO団体が詩の朗読会を開いた。

読売新聞 6月20日

朝日新聞 (6月20日)、NHK特番「SAVE THE FUTURE」(6月21日)、J-WAVE「LOHAS SUNDAY」(6月21日)、ズームインスーパー (6月22日)、朝ズバツ (6月22日)、東京新聞 (6月22日)、産経新聞 (6月22日)…その他、多数掲載。

賛同金で運営しています

100万人のキャンドルナイトは、地球環境基金から550万円の助成(2009年版)とみなさまからの賛同金で運営しております。2009年度の賛同金スタイルは、一般の方々には、3,000円、10,000円、50,000円の3タイプ。企業は一口100,000円のキャンドルホルダーとしてお願いしました。収入は、主にキャンドルナイトを実施するための経費として事務局が責任を持って使わせていただいています。下記収支は、2009年夏至分(2009年7月現在)のものをそのまま同年冬至に引き継がれます。

2009年度 報告書用収支

収入		支出	
賛同金 ※1	6,354,000円	夏至ウェブページ制作+更新費 ※2	1,500,000円
地球環境基金助成金	5,500,000円	サーバー構築+維持管理費 ※3	200,000円
		フラッシュコンテンツ制作に関する費用 ※4	2,000,000円
		翻訳その他海外展開に関する費用 ※5	700,000円
		メインビジュアル制作、ポスター印刷費 ※6	1,665,000円
		ウェブサイトその他用取材・記録・原稿料 ※7	400,000円
		事務局人件費 ※8	600,000円
計	11,854,000円	計	7,065,000円

◎キャンドルホルダー

大地を守る会、カメヤマローソク、株式会社 素敬、太陽光発電システム「見積工場」、NPO法人チャリティ・プラットフォーム、株式会社 コロンビアスポーツウェアジャパン、株式会社 モトックス、株式会社福岡銀行、株式会社 熊本ファミリー銀行、株式会社 親和銀行、エバーキャンドル、ハーゲンダッツジャパン株式会社、株式会社 ノルコボレーション、株式会社 デザインフィル、らでいっしゅぼーや株式会社、トステム株式会社、松山油脂株式会社、株式会社TBSラジオ&コミュニケーションズ、株式会社全通、株式会社日本エコシステム、太陽光発電の省エネドットコム、株式会社バウコミュニケーションズ、株式会社ディグニティ、富士ゼロックス株式会社、株式会社ケイズ、株式会社YFS、東洋エクスティア株式会社、株式会社アレフ、太陽生命保険株式会社、雷鳥社、東京ミッドタウン、光と風設計社、八都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉県、さいたま市)、パルシステム生活協同組合連合会、株式会社ヴェレダ・ジャパン、ゆめ画材、セイコーエプソン株式会社、株式会社ランダムハウス講社、ブルーマン、リヴァックス、キートス、わかき生活、成美学苑、グルッパ、ダイナビジョン、株式会社流通サービズ、株式会社オフィスバーク、じぶん年金「みらいのために、たいせつなこと」

◎50,000円以上の賛同者

堀田 正彦 ((株)オルター・トレード・ジャパン 代表取締役)、(株)生活サポートクラブ、秋川 正 ((株)秋川牧園 代表取締役)、デントラルサポート株式会社、(株)ハーバー・研究所、日本労働組合総連合会(連合)、綜美薬品株式会社 斎藤京一、ネイチャーズウェイ オンラインショップ、渡邊 美樹(ワタミ株式会社 代表取締役会長)、旬菜膳、田中裕子(グリーンコープ共同体代表理事)、株式会社 研空社、アマタ株式会社

◎10,000円以上の賛同者

アセロラ倶楽部 さとーてーいち、いち@前橋J、有機農業の「夢農園くらぶ」、矢野家別邸 ごちぜん、Hein/A-TEAM DESIGN、株式会社ノースベース、東都生活協同組合、キャン

ドル専門店 Zakka Bakka、栗原 彬(日本ボランティア学会 代表・政治社会学者)、幸田シャミン、鍋島 厚(北軽ファーム)、川北秀人 I HOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者、立松 和平(小説家)、長崎有機農業研究会、一ノ宮 輝嘉道((株)一ノ宮事務所)、株式会社オルヴォー、Reflection LAPO、大阪北新地club karma(カァマ)、(株)食のスタジオ、仙台黒豚会 小原文夫、千賀裕太郎(東京農工大学教授・大学院連合農学研究所長)、常陽建設株式会社、Yae、(有)富士見堂、住たいる工房、合資会社 大和川酒造店、(株)遠藤蒲鉾店、落合 良(結の会 会長)、村上 謙顕(海の精株式会社 社長)、久米繊維工業株式会社、岸 康彦((財)日本農業研究所 客員研究員)、古川 康(佐賀県知事)、有限会社 知床ジャーニー、播磨 靖夫(財団法人 たんばの家の 理事長)、小島 敏郎(青山学院大学 教授)、古木山 東伝院、株式会社 トモス、カメラトップス本郷駅前店 玉虫 敦、木 隆男((株)胆江日日新聞社 代表取締役社長)、井口食品株式会社、中西 和夫(日本食品工業 株式会社)、アロマセラピー総合研究所・(株)インターブレイン、株式会社 ビオ・マーケット、嶋津 昭(財団法人地域総合整備財団 理事長)、倉垣 光孝((株)浪漫堂 代表取締役CEO)、道の駅 奥熊野古道ほんぐら、矢野一郎、PICNIC-WORKS、株式会社ロンチ、安全な食べものネットワーク、中村 靖(株式会社創健社 代表取締役社長)、有限会社リーファース、無料で楽しめる電子図書館、生活クラブ生活協同組合 大阪、株式会社 サニーサイドアップ、緑川 芳樹(グリーンコンシューマー研究会 代表)、唐牛真喜子(株式会社アトモス)、農業生産法人有限会社 王冠堂農園、株式会社札幌中一、須田 洵、takimorio ●●●あんな事やこんなこと●●●、フォーエス 有限会社、石澤 良昭(上智大学長)、森永智、佐藤 曉倍(世婚の一酒造株式会社 社長)、有限会社 大和急送、株式会社 花の企画社、IMPLEX(インプレックス)表参道店、中村 雄雄(特殊免疫研究所)、三橋規宏(千葉商科大学 教授)、成清海苔店 代表者 成清忠、光食品株式会社、壺内タオル株式会社、株式会社TRIBAL ART SHUN、有限会社 藤芸、ECC社会貢献センター

◎3,000円以上の賛同者

天気輪雑貨店、K&S .Fukayama、板垣 鏡子、「遠い目をして、あの日の空。」平尾 亮、Blessing、F. S LaNa、「お茶日記」渥美慶祐、S-Mileカンパニー、Le Temps ルタン Franceより、RIGAUDリゴールキャンドル、かねこ建築製作所、カラーキャンドル工房、中川達夫(風明舎)、池田 昭(弁護士)、NPO法人 参加型システム研究所、un jour、北川晶誉&美鈴、casa secco、NPO法人環境創生研究フォーラム、ハイパープランツ(株)、佐藤喜作(農業)、梶井功(東京農工大学名誉教授)、棚田むすびの会、moomooMooN、リトルワンダース インターナショナルスクール、新浦安インターナショナルプリスクール、Imaginary Studio音楽制作部、松澤美奈、こびとの森の店 香遊、特定非営利活動法人グリーンピース・ジャパン、大沼勝、緑の地球ネットワーク、宇根豊(百姓・農と自然の研究所、飯田俊((株)ゆうげい社)、浦生孝治(京都女子大学教授、13LUNA●Aromatherapy&Healing Shop、(有)伊藤遊船、株式会社アイデムホーム、Beauty Brains:CHOCOLALU、STUDIO・MiNX、aromatherapy〜アロマセラピー〜専門店ふくす、アリオハネファクトリー、梅田皮革芸、大江 正章(コモンズ代表)、雨谷 麻世、長津洋子、21世紀おばちゃん、澤田佐一郎、自力整体Tokyo、小島寛太郎、マルイ漬物、Espass、さとうはなよ、泉正徳、上村勝治、絳雪(会社員)、尾崎零(産消循環自給農場べじたぶるはーつ代表)、藤井 明人(NECフィールドイン)、雑貨の学校(R)、小田桐 秀城(BAGEL&BAGEL)、雑貨とギャラリ dix ann'ez、Ku: design、A'ワーク創造館、NPO法人かものはしプロジェクト 内 有志、藤本秀人 山口県宇部市 常盤遊園地、山本清未(オラソーマグラフィックデザイナー)、200-2、岩田 敏一、nature ground、株式会社ユービーコミュニケーションズ「音呑クルー」、東濃ひのき・五寸柱の家 カネダイ、政本 晶生、再生支援センター、株式会社インブルー、犬小屋ならカッサン建築工房、鷲野浩之、姫プロダクション、株式会社ハヤマホーム

※1 調査時点でHPに掲載されているホルダー&賛同金から算出 ※2 年間230万円のうち、150万円を夏至分とした ※3 年間40万円のうち、半分の20万円を夏至分とした ※4 年間予算そのまま記載。コンテンツ制作終了のため ※5 年間190万円のうち、環境基金に夏至分として請求のあった70万円を記載 ※6 年間予算そのまま記載。制作済みのため ※7 ニュース記事35万円、報告書5万円を計上 ※8 年間130万円のうち、60万円を夏至分とした

これまでの実績

2003年夏至 NGO発のよびかけに環境省が後援、新しい運動として、初めてながらも日本全国に広がりました。2003年6月22日(日)には、全国約2,300箇所の施設が消灯、全国で約500万人が参加しました(環境省調べ・推計)。全国23都道府県で64イベントが開催されました。

2003年冬至 全国18都道府県で、38イベントが開催されました。

2004年夏至 NGOと政府が2003年よりも強く連携。後援ではなく、連携という形で、環境省とよびかけを行なった結果、全国6,069箇所の施設が消灯し、日本全国で約640万人(環境省調べ・推計)が、様々な形で参加しました。また、この年より企業の参加も増え、ワタミフードサービス、損保ジャパン、ファミリーマートなど、さまざまな企業が施設の消灯や、社員へのよびかけを行ないました。

日時:2004年6月19日(土)~21日(月・夏至) 20:00~22:00

よびかけ人:約80名

坂本龍一(音楽家)、中嶋朋子(女優)、宮崎あおい(女優)、黛まどか(俳人)、加藤登紀子(歌手)、小林武史(音楽プロデューサー)、大貫妙子(音楽家)、市毛良枝(俳優)、渡邊美樹(ワタミフードサービス 代表取締役社長)、倉本聰(富良野塾)、増田寛也(岩手県知事)、堂本暁子(千葉県知事)、中田宏(横浜市長)他

実施イベント

全国各地43都道府県で239イベントが開催されました。

パブリシティ

全国紙、雑誌、テレビ、ラジオなど、さまざまなメディア約140媒体で紹介されました。

受賞

・グッドデザイン賞新領域部門受賞。

・キャンドルナイトには国産のものを食べようという特別企画

「身近な食で地球を冷ませ!キャンペーン」は、地球温暖化防止環境大臣表彰受賞。

2004年冬至 全国各地で110イベントが開催されました。

2005年夏至 東京タワー、大阪城など、全国22,716箇所の主要施設が消灯しました。2004年は6,069箇所だったので、約4倍に増加しています。

日時:2005年6月18日(金)～21日(火)20:00～22:00

2005年よびかけ人:約90名

倉本聰(作家)、忌野清志郎(バンドマン)、高橋恵子(女優)、小林武史(音楽プロデューサー)、潮谷義子(熊本県知事)、増田寛也(岩手県知事) ほか

2005年イベント

全国各地で311イベントが開催されました。

パブリシティー

全国紙、雑誌、テレビ、ラジオなど、さまざまなメディア約85媒体で紹介されました。

2005年冬至 全国各地で152イベントが開催されました。

2006年夏至 東京タワー、大阪城など、全国39,845箇所の主要施設が消灯しました。約81万kwhの電力の削減に繋がりました。韓国のNソウルタワーなど海外施設の消灯も実施されました。

日時:2006年6月17日(土)～21日(水)20:00～22:00

よびかけ人:98名

加藤登紀子(歌手)、坂本龍一(音楽家)、小林武史(音楽プロデューサー)、関野吉晴(旅人)、渡邊美樹(ワタミフードサービス 代表取締役社長)、増田寛也(岩手県知事)、堂本暁子(千葉県知事)ほか

実施イベント

全世界で473イベントが開催されました。海外では、アメリカ、韓国、モーリシャスなど6イベントが開催されました。



パブリシティー

全国紙、雑誌、テレビ、ラジオなど、さまざまなメディア約115媒体で紹介されました。

2006年冬至 全国各地で282イベントが開催されました。

2007年夏至 東京タワー、大阪城など、全国63,138箇所の主要施設が消灯しました。約300万kwhの電力の削減に繋がりました。消灯施設数は2006年の約1.6倍に増加しています。2006年に引き続き韓国Nソウルタワーの消灯も行なわれました。

日時：2007年6月22日(金)～24日(日)20:00～22:00

よびかけ人：108名

オノ・ヨーコ(芸術家)、坂本龍一(音楽家)、小林武史(音楽プロデューサー)、忌野清志郎(バンドマン)、大河原まさこ(参議院議員)、堂本暁子(千葉県知事)、水口憲哉(東京海洋大学名誉教授)他

実施イベント

全世界で903イベントが開催されました。海外では、アメリカ、韓国、インドで5イベントが開催されました。

パブリシティー

全国紙、雑誌、テレビ、ラジオなど、さまざまなメディア約128媒体で紹介されました。

2007年冬至 全世界で465イベントが開催されました。海外では、アジア、アメリカヨーロッパで39のイベントが開催されました。

2008年夏至 東京タワー、大阪城など全国149,939か所の施設が参加し、約2,371,786,51kWhの電力の削減につながりました。日本のみならず、3年連続で韓国Nソウルタワーでも消灯が行われました。

日時：2008年6月21日(土・夏至)～7月7日(月・七夕)20:00～22:00

よびかけ人:86名

オノ・ヨーコ(芸術家)、坂本龍一(音楽家)、小林武史(音楽プロデューサー)、加藤登紀子(歌手)、古川康(佐賀県知事)、高木剛(日本労働組合総連合会会長)

実地イベント

全世界で951イベントが開催されました。海外では、モーリシャス、韓国、香港、台湾、北京などアジアを中心に世界中でキャンドルナイトが開催されました。ハワイやマウイ島、ドイツ、ベルリン、ベラルーシでも開催報告がありました。

パブリシティー

全国紙、雑誌、テレビ、ラジオなど、さまざまなメディア約140媒体で紹介されました。今年、NHKの特番や朝日新聞全国版の朝刊での告知などがあり、いままで知らなかった年齢層への認知度がさらに増した年でもありました。

2008年冬至

2008年冬至 全国で427イベントが開催されました。海外では、韓国、カナダ、スロベニア、アメリカ、イタリアなどメディアや個人含む5つのイベントが確認できています。

100万人のキャンドルナイトは、一人一人が主催者になる活動ですが、みなさまのコーディネーターとして、発起人である「よびかけ人」代表数名が定期的に集まり、毎年、夏至・冬至の開催に向けて、多くの「よびかけ人」にこのムーブメントを呼びかけていただけるように随時準備を進めています。実行委員会事務局では、毎年二回の開催に向けてインターネットの運営、記録、プレスリリースなど、さまざまな活動をしております。毎年新しい取り組みをご紹介するべくスタッフ一同、自信を持って活動を続けておりますので、今後とも末長く100万人のキャンドルナイトをご支援ください。この場を借りましてお願い申し上げます。

100万人のキャンドルナイト事務局
担当：大野由紀恵・中川啓・川越晃子
デザイン：樋口賢太郎

〒106-0032
東京都港区六本木6-8-15-2F（大地を守る会内）
03-3402-8877
webmaster@candle-night.org